

「信州のいい川づくり」モデル事業について

【趣 旨】

- ◇ 最新の多自然川づくりの考え方を取り入れ
 - ◇ 地域の特色を活かした河川改修を推進
- 【具体的な整備方針】
- ① 局所的なネック箇所の解消、護岸整備
 - ② H24年度から概ね5カ年程度で工事

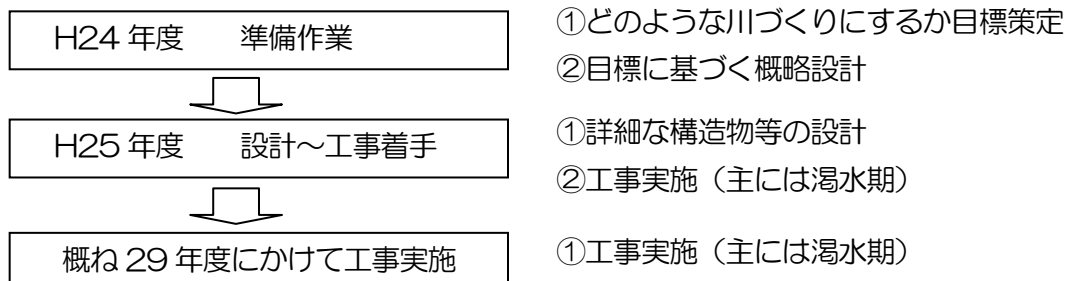
■最新の多自然川づくりとは・・・・・・・・

現在の河岸やみお筋が良好な環境を形成している場合には、現況の平面形や横断形にならない、それをできるだけ保全し改修後の流速をあまり増加させないこと。河岸・水際部の計画・設計にあたっては、治水機能の確保と共に、河岸・水際部が本来有する河川景観及び自然環境面での機能が十分発揮されるように行うこと。

■地域の特色を生かした河川改修とは・・・・・・・・

河川は、過去、現在、将来にわたり現に存在し続けるものであり、いわゆる河川管理者のみが整備、維持管理を行うのみではなく、「川づくり」について地域住民が協働・共有し、将来的な利用や維持管理を考えた上で、それぞれの地域に適した河川整備を行うこと。

【事業全体のスケジュール】



【H24年度のスケジュール】

